

(別紙5)

補助事業概要の広報資料

補助事業番号 23-4-032

補助事業名 平成23年度（復興支援）被災地の記録、調査活動補助事業

補助事業者名 特定非営利活動法人 杜の考房

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

【背景】

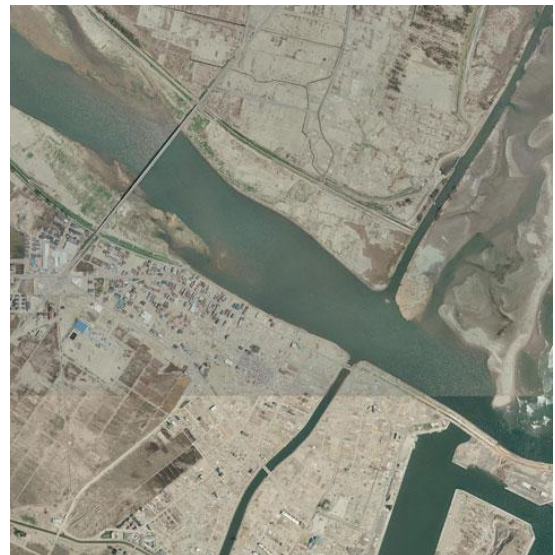
- ・被災前の地域コミュニティを支えて来たものは、地域のアイデンティティ（帰属意識）です。アイデンティティを長い年月を掛けて構築、維持して来たのは、地域住民の方達が共有してきた、有形・無形の景観・施設・行事等の「ふるさとへの関わりと思い出」です。例えば、名も無い神社仏閣の氏子や檀信徒として関わって来た、四季折々の例祭や行事等ですが、地震と津波により一瞬で崩壊、流出しました。これらを、保存、継承することは、これからの地域や避難先での新たなコミュニティ再興の為に必要であり、高齢者の心のケアに取っても大切だと考えられます。

■津波で失われたコミュニティ：宮城県名取市



- ・被災前＝住宅・商店等が密集

この地域にあった神社、お寺も全部（5カ所）流出した



- ・全ての建物が流出

【目的】

- ・無くなった「ふるさとへの関わりと思い出」⇒被災者にヒアリング調査を行い「思い出」を抽出します。抽出した場所を、ホームページ上に掲載して、写真、動画を持っている人から、それに関わる思い出等も併せて投稿してもらい、デジタルアーカイブとして保存・公開します。

- ・高齢者等（デジタルデバイド）の方達の心のケア ⇒ 被災地域及び避難先でネットの活用が出来ない為に、情報不足や将来への不安や寂しさを感じている方達に、データを冊子として編集・発行し無料で配布、将来へ希望をつなぐ一助としてもらいます。

（２）実施内容

- ・被災地域及び被災者の方達に対して、震災で無くなったコミュニティを再生、再興して行く上で大切な、今まで地域のアイデンティティを構築維持して来た、有形無形の「ふるさとへの関わりと思い出」のヒアリング調査を実施。
- ・思い出の場所のデータ（写真・動画等）をネットで収集、デジタルアーカイブ及び冊子として編集・発行して、被災者・行政・報道機関等へ無料で配布しました。
- ・冊子を、新たなコミュニティづくりの参考にして頂くこと、そして、被災者の心のケアにも使用してもらい、コミュニティ再興の支援を行いました。

■仮設住宅へ戸別に訪問してヒアリング調査を実施



■寒い季節に入り仮設住宅でのヒアリングは、風が入り被災者に迷惑を掛けるので、集会所で、お茶会形式でヒアリング調査を実施



■評価委員会・推進委員会で PDCA に則り課題解決を図りながら事業運営を行う



■ ホームページでヒアリングした「思い出の場所」の震災前の写真・動画を募集

該当 URL: <http://omoide.o-r-i.info/>

・トップページ

・「思い出の場所」公開ページ

・写真投稿ページ

・動画投稿ページ

■写真集発行：「ふるさとの記憶、人々の絆」



・投稿された震災前の写真で編集した「思い出の場所」写真集

2. 予想される事業実施効果

- ・行政、自治会（仮設住宅）等で冊子を活用して被災地域のコミュニティ再生に役立ちます。
- ・被災者の情報不足を解消しコミュニティ再生への意欲喚起の効果が期待できます。

3. 本事業により作成した印刷物等

- ・写真集「ふるさとの記憶、人々の絆。」 5,000部発行
- ・配布先 → 別添・配布先一覧表の通り
- ・ホームページ 該当 URL: <http://omoide.o-ri.info/>

4. 本事業についての問い合わせ先

団体名： 特定非営利活動法人 杜の考房（モリノコウボウ）
住所： 〒983-0044
宮城県仙台市宮城野区宮千代 3-2-14 高時ビル 4階

※被災の為、平成25年3月までは、連絡等は下記住所へお願いします。
〒983-0044 宮城県仙台市青葉区本町一丁目12-2 モンテベルデ花京院 306
株式会社 大槻総合研究所 気付

代表者： 理事長 荒川 眞三（リジチョウ アラカワ シンゾウ）
担当者名： 高野 寿郎（タカノ トシロウ）
電話番号： 090-2794-7935
FAX： 022-723-1622
E-mail： t-takano@s-w-c.jp
URL： <http://www.e-woods.jp/>